

## 令和4年度 予算編成方針

- 世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症により、世界経済にも大きな影響が及ぶ中、本市においても様々な感染症対策事業を実施していますが、コロナ禍が収束する見通しは未だ立っていません。
- 令和3年度当初予算において減収が見込まれた市税については、令和4年度以降回復が見込まれますが、人件費、扶助費、公債費といった義務的な経費は近年、増加の一途をたどっています。また、老朽化している庁舎の建替のほか、公共施設等の長寿命化や維持管理等には、今後ますます経費を必要としますが、これらを実施していくため財源の確保が課題となっています。
- 令和3年度予算編成では、市税の臨時的な減収と、中期財政計画で示した歳出超過に対応するため、市単独事業費について経常経費の一律削減等を行いました。令和4年度予算編成においては、市税の回復を見込み、令和3年度予算で行った臨時的な財政調整基金繰入金を増額の解消と、令和4年度以降の人件費、扶助費、公債費といった義務的な経費の増額への対応が行えると想定しますが、市単独事業費の増額までは見込めない状況です。こうした状況を勘案し、新規事業の財源については、既存事業の見直しや新たな財源を確保することで生み出すなど事業の見直しを進め、令和4年度予算編成を行ってください。
- 感染症対策については、引き続き強力に推進してください。また、ポストコロナを見据えながら、新しい時代に対応した新規事業の提案も、積極的に行ってください。
- 事業の見直しについては、行政改革指針に基づき重点課題を設定し、具体的な取組を行っていくこととしています。これまでに示された重点課題については、令和5年度までに取組の成果を出すこととしていますので、予算編成にあたり、その点に十分留意してください。

- 公共施設等の長寿命化や維持管理等については、多額の経費が見込まれるため、これらの事業については公共施設等総合管理計画に基づき適正に管理していく必要があります。必要な経費については突発的には対応することは難しいので、計画的に見込みを立てながら対応してください。
- 令和4年度予算においては、「2050年脱炭素社会」の実現に向けて、温室効果ガスの削減、省エネ等に関する施策に積極的に取り組んでください。また、政府において令和3年9月1日にデジタル庁が設置され、今後ますますICT化等の推進が全国的に予想されるので、情報収集に努めてください。
- 「市民主体のまちづくり」を進めるため、行政に頼らず、市民が地域で自立的に取り組むための自己資金確保を応援するために、クラウドファンディングの活用を始めとする制度設計を行ってください。
- 本市においても、今後訪れる人口減少や高齢化、いつ起こるか分からない災害など、大きな課題に直面したときにも、難局を乗り越えていけるよう、すべての市民が役割と居場所を持ち、誰一人取り残さない地域共生社会の実現のため、具体的な施策を考えてください。

令和3年9月17日  
長久手市長 吉田 一平